

# 大阪ひびきの街 ザ・サンクタタワー

## 環境志向型タワーレジデンス

- 所在地：大阪市西区新町1丁目
- 用途：共同住宅
- 建築主：オリックス不動産株式会社、株式会社大京、京阪電鉄不動産株式会社、大和ハウス工業株式会社、大阪ガス都市開発株式会社
- 設計者：株式会社大林組大阪本店一級建築士事務所
- 敷地面積：4,297.04㎡
- 建築面積：2,669.12㎡
- 延べ面積：99,964.47㎡
- 構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
- 階数：地上53階、地下1階
- CASBEE評価：Sランク／BEE値3.4
- 重点評価：CO<sub>2</sub>削減4.0／省エネ対策4.0  
みどり・ヒートアイランド対策4.0



### 【立地、周辺環境】

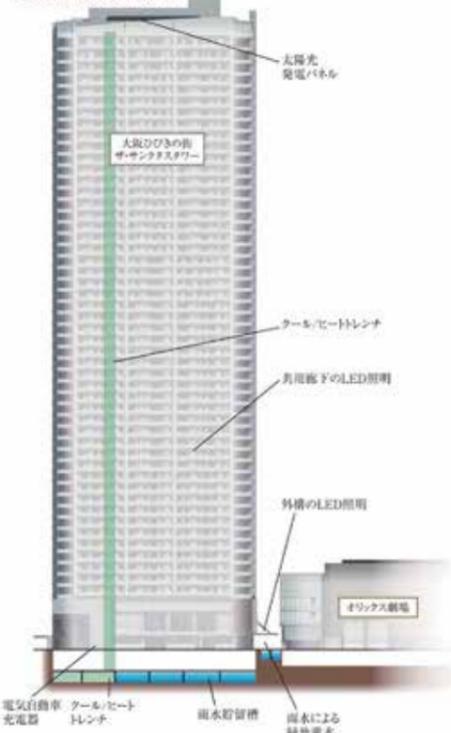
本町駅と四ツ橋駅の間部に位置し、利便性に優れた立地である。旧大阪厚生年金会館の重厚な外観を残したオリックス劇場があり、一体的な地区計画が定められている。また、南側には公園が広がる好立地である。

### 【総合的なコンセプト】

大阪市西区の旧大阪厚生年金会館跡地に建つ地上53階・地下1階・総戸数874戸の西日本最大級のタワーレジデンスである。再生可能エネルギーの利用や災害時の対応に配慮し、ランドマークとしてふさわしいデザインを目指した。

## 建物断面構成図

### 【環境配慮概念図】



### 【防災対応概念図】



### 約7日間の停電・断水に備えた電気と水のライフライン

- ①非常用発電機対応の非常用エレベーター（2基）  
非常用発電機を電源にして運転できる非常用エレベーター（各階停止）を2基設置。
  - ②屋上緊急避難着陸場  
緊急時の負傷者搬送にも対応できるように、屋上に緊急搬送用のヘリポートを設置。
  - ③内部廊下の常夜灯（各階）  
避難ルートの明るさを確保するため、停電時には非常用発電機から各階内部廊下の常夜灯に給電。
  - ④棟内防災ポイント（2階・30階）  
照明・コンセント・トイレを確保できる防災ポイントをマンション内2カ所に設置。
  - ⑤屋外防災ポイント  
屋外にも防災コンセントや給水栓を備えたポイントを整備。
  - ⑥防災倉庫  
災害備品や工具などを保管する防災倉庫を1階と30階に設置。
  - ⑦非常用発電機  
計画停電が実施された場合でも調達しやすい軽油を燃料とし、非常時にも柔軟に対応できるように配慮。
  - ⑧非常用発電機用オイルタンク（地下埋設）  
防災ポイントや非常用エレベーターへの給油を約7日間まかなえる容量（軽油約27,000ℓ）を確保。
  - ⑨30階・高架水槽  
約12Kℓ貯えられる高架水槽を設置。
  - ⑩地下1階・受水槽  
最大容量約290Kℓの受水槽を設置。
  - ⑪地下・雨水貯留槽  
雨水貯留槽（約150Kℓ）を設置。
  - ⑫地下・緊急用給水槽  
緊急用貯水槽（約100Kℓ）を設置。
  - ⑬造水装置（小型造水機）  
ろ過によって飲料水をつくれる移動式小型造水機を設置。
  - ⑭地下・緊急用排水槽  
下水道が使えなくなった場合にも配慮して、緊急用排水槽を設置。
- ← 動線  
← 電気  
← 水  
← 燃料

## 環境配慮事項とねらい

### ■共用部のエコ設備

- 建物低層部外装にはガラス・テラコッタ等の素材を用いて隣接するオリックス劇場に呼応
- 各階共用廊下の給気には地中熱利用の省エネ装置「クール/ヒートレンジ」を採用
- 10Kwの太陽光発電パネルを屋上に設置、共用部の照明等に給電
- 常時雨水貯留槽に水をためておき、敷地内緑地の灌水に利用
- 1階の平面駐車場2カ所に電気式自動車の充電器を設置
- 共用部の照明器具にLED照明を採用
- 住宅性能表示劣化対策等級3を取得し、躯体の耐用年数に配慮
- 連結制振構造を採用し、安全性に配慮
- 30%以上の緑地率を確保し、地表面温度上昇に配慮
- 建設前後の風害シミュレーションを行い、風環境に配慮

### ■専有部のエコ設備

- 潜熱回収型ガス給湯暖房機の採用
- サッシに複層ガラスを採用し、住宅性能表示省エネルギー対策等級4を獲得
- キッチンにディスポーザー設備を採用し、生ごみ発生量を低減
- 基準階階高を3.28m確保、更新性に優れた二重床・天井を採用
- ダウンライトはLED照明を採用
- 節水型便器の採用
- 玄関照明に人感センサー制御を採用
- シックハウス対策として、全面的にF☆☆☆☆、規制対象外の建材を使用

